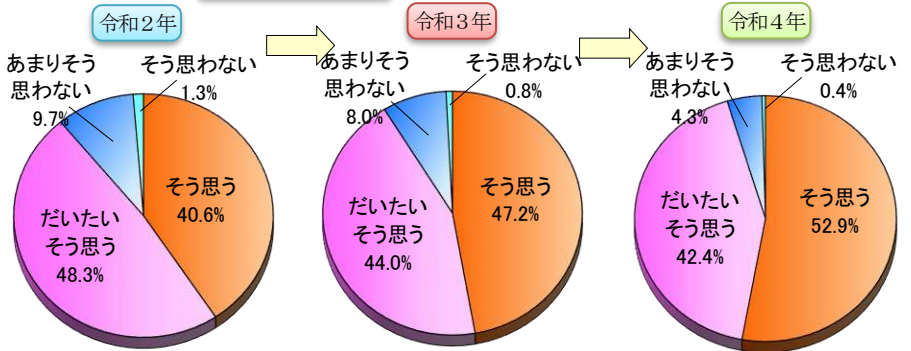


【教職員アンケート結果】

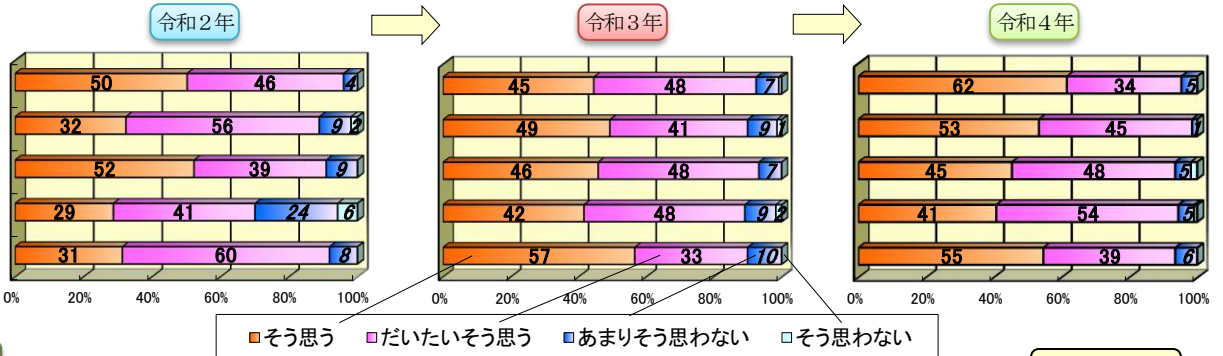
肯定的な自己評価が 89%→91%→95%と毎年高まっている。特に「そう思う」の割合が+5%→+10%を大幅に高くなっており、教職員が学校の教育活動を計画的・重点的に改善してきた自負の表れと考える。一方で、保護者や児童の評価との不一致も見られ、その成果が伝わっていないと推察する。今後は、教育活動を充実させながら、より一層分かりやすい説明を心掛けていく必要がある。

総合評価



観点別

- 信頼される教育の確立
- 確かな学力の定着
- 豊かな心の醸成
- 健やかな体の育成
- 輝く未来に向かって



評価項目別

観点	No.	評価項目
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営
	2	安全管理 危機管理
	3	学校公開 情報発信
	4	カリキュラム マネジメント
	5	学校・家庭・地域の連携協働
	6	共にある教育の実現
	7	働き方改革の徹底
	8	ワンチームでビジョンを共有
確かな学力の定着	9	学習習慣・学習規律の定着
	10	基礎・基本的な学力の定着
	11	新たな価値を創造する力
	12	外部人材 ICT 活用
	13	ユニバーサル・デザイン
豊かな心の醸成	14	自己有用感の醸成
	15	認知機能・社会性の向上
	16	内面に根ざした道徳性の涵養
	17	心の居場所づくり
健やかな体の育成	18	新しい生活様式の定着
	19	体力・運動能力の向上
	20	ストレスに対処できる力
輝く未来に向かって	21	健康管理 保健衛生
	22	言語能力の向上
	23	情報活用能力の向上
	24	国際社会で活躍できる人材
	25	特別支援教育の推進



100 点満点に換算

数値化

評価項目	R2	R3	R3	差
学校公開/情報発信	98.7	92.4	94.7	2.3
特別支援教育の推進	85.0	88.6	93.7	5.1
学校の組織力と学校運営	87.0	86.7	93.7	7.0
安全管理/危機管理	88.3	86.7	91.5	4.8
外部人材/ICT 活用	72.7	88.6	89.4	0.8
情報活用能力の向上	-	92.4	88.4	-4.0
言語能力の向上	75.3	88.6	87.3	-1.3
ユニバーサル・デザイン	80.5	84.8	87.3	2.5
学習習慣・学習規律の定着	78.2	80.0	87.3	7.3
学校・家庭・地域の連携協働	85.7	78.1	87.3	9.2
新しい生活様式の定着	91.4	91.4	86.2	-5.2
基礎・基本的な学力の定着	71.4	82.9	86.2	3.3
健康管理/保健衛生	81.9	81.9	86.2	4.3
自己有用感の醸成	83.1	81.0	85.2	4.2
働き方改革の徹底	76.6	80.0	85.2	5.2
共にある教育の実現	85.7	77.1	85.2	8.1
ワンチームでビジョンを共有	81.8	74.3	83.1	8.8
心の居場所づくり	92.2	91.4	82	-9.4
カリキュラム・マネジメント	72.8	79.0	81.0	2.0
認知機能・社会性の向上	-	79.0	81.0	2.0
体力・運動能力の向上	79.0	79.0	81.0	2.0
新たな価値を創造する力	81.8	75.2	81.0	5.8
内面に根ざした道徳性の涵養	77.9	79	79.9	0.9
ストレスに対処できる力	-	66.7	72.5	5.8
国際社会で活躍できる人材	83.1	69.5	71.4	1.9

「連携協働」「共にある教育」など『信頼される教育の確立』が向上し、「情報活用能力」「言語能力」など『確かな学力の定着』の評価が高い。今年度の重点目標にしっかり取り組んできたと言えるが、「道徳性」「体力」「ストレス」などの取組が喫緊の課題である。

※ 各項目の評価を数値化（そう思う×7、だいたいそう思う×5、あまりそう思わない×3、そう思わない×1）その数値を100点満点に換算